人権センター
図書だより
発行：四日市市人権センター
TEL.354-8609　FAX.354-8611
jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp
Vol.48　令和８年10月30日発行

１２月４日～１０日は「人権週間」です。

１９４８年に『世界人権宣言』が採択されたことを受け、日本でも毎年この時期に全国各地でさまざまな啓発活動が行われています。本市でも、この人権週間に合わせて**１２月６日（日）**に**四日市市文化会館**を会場に、『**じんけんフェスタ２０２６**』を開催します！

今号ではその中から第１ホールで行われる人権週間記念講演と人権週間記念映画についてご案内いたします。いずれも入場無料・申込不要・先着順入場となります。ご来場の参考になさってください。

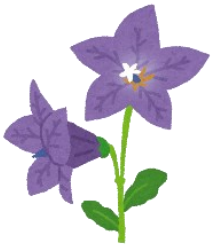
また、この他にも楽しんで人権に触れていただけるいろいろなイベントをご用意しています。詳しい内容やタイムテーブルは、四日市市の公式ホームページ（右の二次元コードよりご覧いただけます）や「広報よっかいち」などをご確認ください。



～人権週間記念講演～
てい先生
「こどもの権利と幸せになる子育てのコツ」
時間：10時00分～11時30分
（9時30分開場）
定員：1，000人（当日先着順、申込不要）
内容：「いま一番相談したい保育士」として様々なメディアで活躍中のてい先生から、大人もこどもも共に自分らしく幸せに生きるためのヒントをお話しいただきます。こどもと一緒に参加できる講演会です。

～人権週間記念映画～
「35年目のラブレター」
時間：13時45分～15時45分
（13時30分からの修了式に引き続き開催します。）
定員：1，000人（当日先着順、申込不要）
内容：定年後、妻への感謝のラブレターを贈るため夜間中学で学び直し、文字を習得する夫の奮闘を描いた実話を基にした作品です。







©2025「35年目のラブレター」製作委員会



PICK UP



昨今、インターネット上で閲覧できる人権啓発動画も増えてきました。
今回はその中から、法務省の動画を3つご紹介します。
ご覧になる際は、各種検索サイトで『　』内のタイトルを入力してご活用ください。



・**『「誰か」のこと じゃない。シリーズ』**
いくつかの人権問題からピックアップされた、全9編の動画があります。テーマに即した学習・啓発にもご利用いただけます。

・**『インターネットはヒトを傷つけるモノじゃない。』**
匿名でのバッシングや不確かな情報の拡散など、誰もが加害者になり得るインターネット上の誹謗中傷等の根絶を目的に作られています。

・**『あなたは大丈夫？考えよう！いじめ　～一人で悩まず相談しよう～』**
大人から見えない SNS 空間で陰湿化する学校生活でのいじめと、SOS の出し方が描かれています。気付くために、大人も一緒に学べる教材となる動画です。



新着図書（9月・10月度）



書名	著者名等	出版社等	分類番号
能力社会から共同体自治へ 競争と排除を乗り越える教育と福祉実践	荒井　和樹	せせらぎ出版	J - 1 - 154
これからの部落解放史　論点と課題	寺木 伸明、朝治 武、渡辺 俊雄、友永 健三、谷本 昭信	解放出版社	C - 2 - 172
おとなの学びシリーズ　NHK3か月でマスターする 心理学　2026年10月号		NHK出版	J - 5 - 309



新着図書より（一部紹介）

『能力社会から共同体自治へ
競争と排除を乗り越える教育と福祉実践』

（J-1-154　荒井和樹　著　せせらぎ出版）

児童福祉の現場に存在する「能力主義」から、過酷な競争社会の構造を鋭く見つめ直し、そこからの脱却を模索する一冊。

著者は、長年続けてきた路上での支援（路上アウトリーチ）や地域での実践を通じて、「支援する側・される側」という固定化された関係性を問い直します。そして、一人ひとりの違いを受け入れ、誰もが排除されない共に生きる場「共同体（コモン）」を自分たちの手で作り上げていくための、希望と具体的なノウハウを提示します。

『おとなの学びシリーズ
NHK3か月でマスターする　心理学
2026年10月号』

（J-5-309　NHK 出版）

人間の心や行動の「なぜ？」を各分野の専門家が分かりやすく解き明かし、毎日をより楽しく生きやすくするための NHK E テレの講座テキスト。

怒りに隠された感情のメカニズム、詐欺に引っかかる心理、現代社会で広がる「推し活」の心理、そして性格は変えられるのかといった身近なテーマを多角的に掘り下げています。現代を生きるヒントとなる心の仕組みを楽しく学べます。

図書は、1回につき5冊まで、15日間貸出しできます。詳細は人権センターへお問い合わせください。